

「京都を学ぶセミナー-南山城編」第6回（開催報告）

2019年10月16日
京都学・歴彩館
075-723-4835

2017年度から開始した「南山城の文化資源」研究プロジェクトの成果を分かりやすく解説する「京都を学ぶセミナー【南山城編】」第6回を、下記のとおり開催しましたので報告します。

記

- 日 時 2019年10月15日（火）18:00~20:00
- 会 場 京都学・歴彩館大ホール
- 参加者数 94名
- 内 容 講 演 京都教育大学教育学部教授 香川 貴志
「南山城再発見！ー笠置の魅力発信に向けた提案ー」

■ セミナーの様子と当日の参加者の声

京都府内で一番人口が少ない町、笠置町。戦前、史跡名勝天然記念物に指定され、行楽地として栄えてきた。しかしながら求められる観光内容の変質など、笠置を取り巻く環境は大きく変化してきている。戦後すぐに比べ、列車本数が増加しているにも関わらず鉄道の利便性イメージは低下するなど鉄道による笠置観光の需要は低下した。このような現状から再活性化へ向けて何が考えられるのか。講師から様々な提案がなされるとともに、解決しなければならない課題について分かりやすいお話しがあった。今回のセミナーでは、笠置町やその近隣地域からの参加が多くみられ、大変有意義なセミナーになった。

講演後には、笠置町住民300人あまりが関わった映画『笠置 ROCK!』（監督：馬杉雅喜 2017年）を上映した。映画からは自然豊かな笠置の町とそこに暮らす人々の郷土愛を感じることが出来、参加者からも好評を得た。

なお、関連企画として小ホールでは、当館所蔵の笠置寺磨崖仏の拓本を特別公開し、光庭前にて笠置町を拠点に活躍する写真家シバタタツヤ氏の写真展（[1 to 1] -繋ぐ-）を開催した。大ホール前と2階京都資料総合閲覧室前でも笠置町の魅力を伝える展示を行った。いずれも好評を得ることができた。

京都府内で一番人口が少ない町、笠置町。笠置町が今直面する課題や新たな取り組みは少子高齢化が進む現代日本に多くの示唆を与えてくれるであろうことが分かるセミナーであり、成功裡の内に終えることが出来た。



講演の様子



左：シバタタツヤ氏
右：馬杉雅喜監督



笠置寺磨崖仏拓本展示状況